

群馬青年ビエンナーレ 2019

2019年2月2日(土)~3月24日(日) 群馬県立近代美術館

プレスリリース

「群馬青年ビエンナーレ」は、16歳から30歳までの若い世代を対象とした全国公募の展覧会です。開館以来、長い歴史をもつ「群馬青年美術展」を引き継ぎ、1991年以来隔年で開催してきました。

第14回となる今回は、219組(229人)から317点の応募があり、そのうち50組(52人)51点が入選を果たしました。そして、1月中旬におこなわれた入賞審査の結果、その中から大賞1点、優秀賞1点、奨励賞5点、ガトーフェスタ ハラダ賞1点の計8点が入賞となりました。

大賞を受賞した赤松加奈(あかまつ・かな)氏の《夕日の届くころ》は、農業に従事する作者が、自然の流れの中で生きることを強く感じ、自然と動植物の生と死、人工物が混ざり合う風景を描いた絵画作品です。

展覧会では入賞・入選作品を展示します。可能性にあふれる新世代のアーティストたちの新鮮で多彩な表現を、どうぞご覧ください。

- 【展覧会名】 群馬青年ビエンナーレ 2019
- 【展示内容】 入選作品+入賞作品 51点 (絵画、写真、インスタレーション、映像など)
- 【会期】 2019年2月2日(土)~3月24日(日)
午前9時30分~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 【休館日】 毎週月曜日(2月11日は祝日のため開館)、2月12日(火)
- 【会場】 群馬県立近代美術館 展示室3、4、5
- 【観覧料】 一般300(240)円、大高生150(120)円
*()内は20名以上の団体割引料金
*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
- 【主催】 群馬県立近代美術館、上毛新聞社
- 【協賛】 株式会社 原田・ガトーフェスタ ハラダ

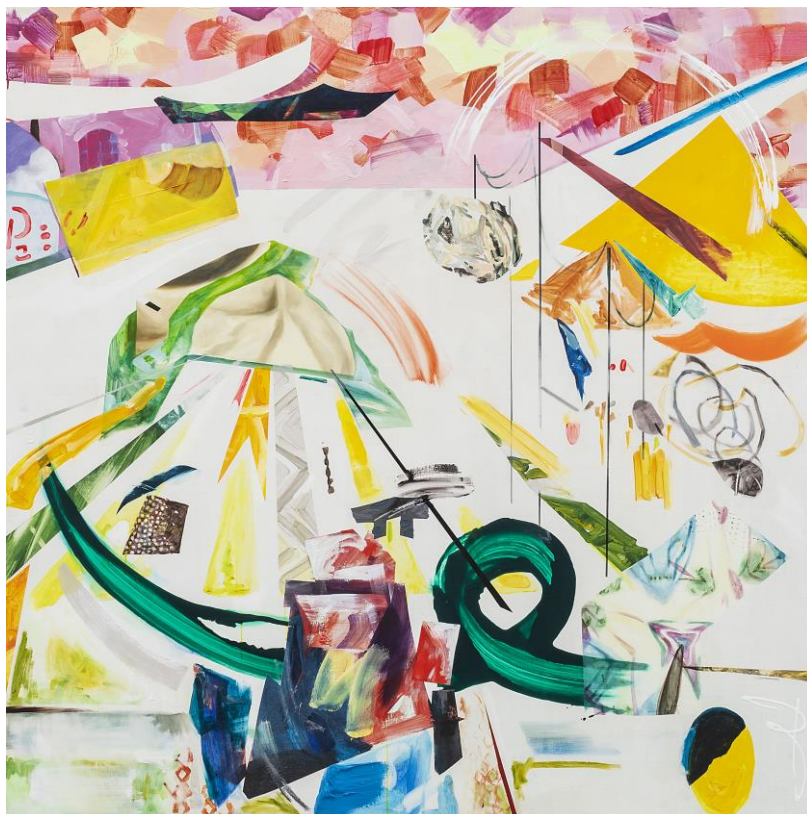
【審査員】 (敬称略、50音順)

- 成相肇 (東京ステーションギャラリー学芸員)
南川史門 (画家)
宮永愛子 (美術家)
藪前知子 (東京都現代美術館学芸員)
鷲田めるろ (キュレーター)

- 【 賞 】
- 大 賞 1 点 100 万円（当館買い上げ）
・ 赤松加奈《夕日の届くころ》
- 優秀賞 1 点 50 万円
・ 大石一貴
《あ、そういえば、踏みつぶしたあれは今、何を見てるんだ。》
- 奨励賞 5 点 各 10 万円
・ 上田良《A Magpie's Nest》
・ 江藤佑一《ネス湖のカッパ》
・ 倉田悟《透明なドライブ》
・ 澤田華《Gesture of Rally #1805》
・ 前田春日美《短い手》
- ガトーフェスタ ハラダ賞 1 点 50 万円（同社買い上げ）
・ 平田尚也《庭園》

【表彰式】 日 時：2019 年 2 月 2 日（土） 午後 2 時～3 時
会 場：群馬県立近代美術館 2F 講堂

【問い合わせ先】 群馬県立近代美術館 [担当] 太田 佳鈴
〒370-1293 高崎市綿貫町 992-1 群馬の森公園内
TEL. 027-346-5560 / 5556 FAX. 027-346-4064
e-mail: ota-ka@pref.gunma.lg.jp HP: <http://mmag.pref.gunma.jp>



【大賞】 赤松加奈 《夕日の届くころ》 アクリル・カンヴァス、パネル 145.5x145.5cm